



OUT THERE Itoshima 志摩園だより

2016. 7.31発行
社会福祉法人
志摩会
第52号

福岡県糸島市志摩久家2527番地の2
TEL092-328-2121

E-mail shimakai@proof.ocn.ne.jp

<http://www.shimaen.or.jp>

特別養護老人ホーム志摩園
ショートステイ
デイサービス
ケアプラン
配食サービス

小規模多機能型居宅
介護

糸島市志摩地域包括
支援センター

地域貢献：オレンジ志縁隊・げんき志縁隊・せいかつ志縁隊、たまり場岐志・桜野・
姫島茶所、おこもりカフェ岐志浜



カラオケ大会（志摩園）

仕事は楽しまないと、もったいないでしょ
数のせいにしなければ、あれもできる、これもできる
自分がやりたいと思うことは、ハードルが高くてもやれるもの
それが動機づけのなせるワザです
それで ひとが喜びます

あめの中のハレすがた

その年の新卒女子職員が早乙女に

陽光が煌めいたならもっと
美しくなっていたはず！



そこに待ちました

今年もヒノヒカリの早苗です



6月4日 たからんたま
第8回さなぼり交流会
九州北部の梅雨入り宣言の日らしい空模様で、中止も検討しましたが、規模を縮小して予定どおり実行です



第4の早乙女登場！



カエルがいたらイヤだけど



玄関先のギャラリーの皆様



片足が滑って、イボって ...

小雨の中、子供たちが大勢集まってくれました。それだけ楽しみにしてもらっていたと思うと、中止にしなくてよかったです。そして午後からが本降りに。 天も味方してくれたのです。



子供会、民生児童委員会、糸島市青年団、志摩の輪ほか、皆様ありがとうございました

秋の収穫祭まで5ヶ月間、手塩にかけ大事に育てます



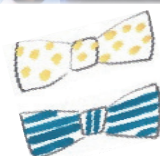


志摩園創立記念演芸会

平成28年5月14日



今年のキャストは看護・機能訓練・ケアマネジャー連合と恒例 新人職員組み。テーマはそれぞれ「リズム体操」に「二人羽織」
図太さと控えめの演出が対照的です



平成28年度第1回 入所検討委員会の状況 (平成28年4月21日開催)

要介護度別申込者の推移

	H26.4.1	H26.10.1		H27.4.1	H27.10.1	H28.4.1
要介護5	29	27	制度 改定	20	17	19
要介護4	49	43		39	32	39
要介護3	53	48		45	59	56
要介護2	53	49		24	22	27
要介護1	50	52		14	14	14
計	234	219		142	144	155

●H27.10からH28.3月までに新たに入所申請を受付けた人数は45名
●上記の期間中に志摩園に入所された方は13名です。また同期間に入所案内して入所辞退された方は35名でした

入所待機場所別介護度(H28.4.1現在)

	在宅	医療機関	老健	特養	G・H	有料	養護	その他
要介護5	4	7	5	0	3	1	0	0
要介護4	11	10	13	2	1	0	0	0
要介護3	13	17	18	0	1	3	0	4
要介護2	13	2	10	0	1	1	1	0
要介護1	4	0	8	0	1	1	0	0
計	45	36	54	2	7	6	1	4

(G・H=グループホーム、有料=有料老人ホーム、養護=養護老人ホーム)

◆平成27年の医療制度分野の改革先行実施で、介護保険施設である特別養護老人ホームが医療的サービスの必要性が高い人の受け皿になったことを実感するケースが増えました。例えば、比較的短期間のうちに、入退院を繰返されるケースの増加や頻繁な吸引(口腔内に溜った液、痰等の分泌物などを体外に排除すること)、24時間酸素吸入が必要な方等の入所相談があります。

但し、これは一時的な状況で、平成30年以降は新たなサービスが整備されれば次第に変わるものと思います。

平成27年度主要事業報告



I 職員採用・退職の状況

● 実績報告期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日

● 法人全体の採用職員、退職職員数

【採用職員】 (名)			
	正規	非正規	計
介護職員	5	13	18
看護職員	1	2	3
機能訓練指導員	1	0	1
介護支援専門員	4	0	4
管理栄養士	1	0	1
調理員	0	2	2
夜間警備員	0	2	2
その他	0	0	0
計	12	19	31
備考	H28.4.1付で、正規職員に登用した職員は6名(全て介護職員)です		

【退職職員】 (名)			
	正規	非正規	計
介護職員	7	13	18
看護職員	0	2	2
調理職員	1	0	1
事務員	0	1	1
生活相談員	2	0	2
夜間警備員	0	2	2
計	10	18	28
退職理由	・職務遂行能力の不安 ・職員自身の疾病治療 ・職場の人間関係 ・市外転出、育児、家族看護等		

II 介護職員処遇改善加算受入状況

(円)

	対象月数	法人全体の加算額
27年度	12ヶ月	35,004,540
26年度	12ヶ月	15,529,169
25年度	12ヶ月	16,017,368
24年度	12ヶ月	15,625,122

※26年度までは障害短期入所分を含む

平成27年度は介護報酬は減額されましたが介護職員の給与増を図る措置は充実しました。志摩会は10年振りに給与制度を改定し、昨年11月から一部を先行実施しました。処遇改善加算は主に諸手当として配分しています

III 有給休暇取得状況 (H27年度発生した全体有給休暇総日数4747.5日、内特養3182日)

特養志摩園 職種別取得状況 (人)	取得 日数	取得率%
介護職員 (75)	492	23
看護職員 (7)	78.5	37
機能訓練指導員 (3)	14.5	23
栄養士 (5)	24.5	18
調理員 (13)	30.5	9
介護支援専門員 (2)	6	12
生活相談員 (3)	19	16
事務員 (4)	51	33

事業所別取得状況	取得率
特別養護老人ホーム志摩園	23
デイサービスセンター志摩園	45
デイサービスセンター第二志摩園	58
地域ケアこりん神在	63
地域ケアたからんたま志摩 (小規模多機能)	21
地域ケアたからんたま志摩 (認知症対応型通所介護)	41
居宅介護支援事業所	14
平均取得率	29 %

IV 特養の看取り

27年度老人ホーム志摩園で看取りをさせていただいた方は7名でした。その中で看取り加算の要件に合致したケースは4名でした。

	看取りの日数	
A様	3	日間
B様	63	日間
C様	108	日間
D様	31	日間

【志摩園の看取り手順】

- ①入所契約時にご本人並びにご家族に看取りについて説明し、意向の確認を行います
 - ②入所後も定期的に担当者会議の開催時等ご家族が出席される機会に確認を反復します
 - ③看取りの段階になったことの主治医の判断があれば、医師から予後及び終末時の対応の説明をします
 - ④志摩園から改めて看取り指針の詳細説明とご本人、ご家族の意向を確認します
 - ⑤終末が差し迫った時は相談体制を強化します
- ※平成18年に看取りケアを始めた以降、志摩園での看取りから最終的に入院に移行したケースは末期がんの疼痛緩和のための1件です

口から食事が難しくなれば点滴で、胃ろうの方も吸収できるところまで栄養と水分を補います

【志摩園の看取りを希望される理由】

- ・慣れ親しんだ場所、人（職員）の環境が安心
- ・最期まで自然な姿でいてほしい

【医師による確認のタイミング】

夜間に異変があった場合、志摩園の看護職員は直ちに出勤しますが、主治医の確認が翌朝になることがある旨、前記「手順」の過程で繰返し、説明しております

【改善の目標】

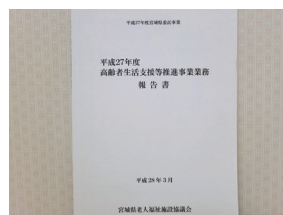
- ・全般的に画一的看取りケアにならず、個別性に配慮したサービスを提供すること
- ・若い職員も増え、死生観も多様であり、職員の精神的負担を緩和する支援
- ・これらを含めて、実施した看取りケアを振り返り、職員の育成、個別の看取りケアのあり方、関ってくれたご家族の気持ちまで聞かせていただき、法人内のターミナル委員会とともに看取りケアの向上を図る

V 地域貢献活動

社会福祉法人制度改革成立の前から志摩会では、目に見える形の地域貢献活動に取り組んできました。平成24年から実行してきた志縁隊活動に加え、その後もたまり場岐志、桜野、姫島茶所と続き、昨年11月にはおこもりカフェ岐志浜を開設しました。

“OUT THERE Itoshima” = 志摩園はもっと外に出よう、地域の中にいよう、個性を発揮しようの掛け声のもと、積極的に地域に出向き、直接地域住民の方々と顔を合せ、お話を聞いて、お互いの状況を少しずつ理解することで、より良い生活の実現のための気づきをたくさん得ることができています。

今年3月31日成立した改正社会福祉法は、社会福祉法人に社会貢献活動の実施を義務付けました。義務付けには違和感を感じることはありませんが、身近なところで個人のレベルから地域全体に関係するような問題まで、放置すると普遍的な生活の質の低下をもたらす危険が潜在しています。ここに社会福祉法人として関り、支援していきたいと考えています。地域貢献活動を継続する中、ここ数年県外でも志摩会の地域貢献活動について報告する機会も頂戴し、このたび、次の報告書、冊子に収録掲載されました。



平成27年度高齢者生活支援等推進事業業務報告書

平成27年度宮城県の標記推進事業の委託事業として宮城県老人福祉施設協議会が実施

した社会的な支援を必要とする高齢者の地域生活継続支援のあり方に関する調査研究の結果を取りまとめた報告書です



老人福祉施設を運営する社会福祉法人による地域社会活動のすすめ～協働による地域づくりを目指して

厚生労働省老人保健事業推進費等補助金事業を受け、一般財団法人日本総合研究所が事務局となり、まとめられました。きっかけをつかんで、とにかく行動してみることとで次のアイデアが生まれます



新連載

おこもりカフェ岐志浜

おこもりカフェ岐志浜は、向こう3ヶ月ごとの“週替り”メニューを用意して皆様のご来店をお待ちしています

裏庭で

至高の午後のひとときを演出

第13回

5/7はF.M.M(福吉ミュージックメイト)の皆様がミニコンサートを



見学に訪問された
志摩民生委員会
高齢者部会の皆
様もご参加



初夏を迎え、静寂を取り戻した岐志浜が木管楽器の優しい音色に包まれました。スタッフの名司会でステージと客席が一体となって、子供の頃の歌から懐かしい名曲まで楽しめました



エンディングは生演奏をバックにみんなで輪になって炭坑節を踊るというノリの良さ

第14回

1部 絵本、紙芝居、体操



ボランティアグループ絆様、4名編成だけあって、紙芝居も体操などもチームワークの動きがあつて惹き込まれました

2部 カニのフローチづくり



ご指導は手芸ボランティアの浦方様。4月に作り始め、仕上げの日です。皆さん、テーブルに身を乗り出すように夢中で、見事に完成しました

第15回



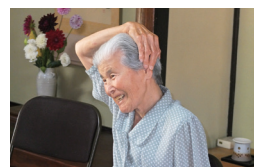
古材の森・有田様による回想

今回は糸島の古い写真—参加者の生まれる前から子供時代、青壮年の頃になるでしょうか—を題材に楽しかった話から失敗談まで皆さんとても饒舌で、笑えました

第16回

6/18は食中毒と熱中症予防について

講師：志摩地域支援センター樋口保健師



梅雨の合間の晴の日で、最高気温は29度まで上昇しましたが、海側と山側の縁の戸を開ければ涼風がとおり抜けます。前原のご利用者と近所の子供も参加して座ったままできる体操も

◆今年6月の引津校区地域ケア会議の場で、カフェの週替わりメニューの内容によっては来場をためらう人もおられるという情報を得ました。カフェでの過ごし方は各自の自由ですので、気楽に足を運んでいただげるよう、これからもスタッフで工夫をして参ります。

連載
企画

いろんな職種から見た 介護の仕事 (第9回)

職員リレー



志摩会に働く170人余りの職員の皆さんに仕事や職場、仲間への思いなどを語ってもらっています …

子育て、家事、仕事の三方両立に奮闘中。サンドバックに蹴りでストレス発散



入江

(特養 介護福祉士)

◆祖母が大好きで介護の仕事を選び、専門学校に進み、今年入職20年目です。子供が2人で、

法人に子育て支援事業があるおかげで継続して働くことができます。

◆尊敬する先輩方、同世代の仲間と切磋琢磨した日々は全て素敵な思い出であり、今の私の基礎になっています。

◆時間帯によっては職員がもう少し欲しい時もありますが、職員同士の声掛け、助け合いの連携で乗り切っています。少ないからこそ、各自の気づき、気配

りに掛っていると思います。ご利用者が求める気配りができる人を育成したいです。

◆育児は忙しい、時間がないを言い訳にせず、《さぼらない》を続けています。好きなカラオケはヒッキーやアムロの新曲制覇が得意でしたがもう新曲は無理です。あと10年は自分の時間は無いと覚悟しつつ、子の成長と約1時間のTVに幸せを感じます。(今は3日間眠り続けたいです。)

地域包括ケアに関する研究・実践にモチベーションが高まります



岡村

(特養 介護福祉士)

◆志摩会に入職して4年目になります。介護の仕事に携わってからは12年位です。大学は熊本、卒業後は福岡市内で働

いていましたが、中学、高校時代を過ごした『愛する糸島』で福祉のしごとに臨みたいと思い、遂にUターンしました。

◆志摩園では入園者や職員の皆さんからたくさんの笑顔をもたらしています。

私も“笑い”の絶えない介護をモットーに皆様の笑顔や笑い声を引きだせるように心がけております。

◆《何事も経験と勉強あるの

み》を信念に、介護福祉士と介護支援専門員の資格をベースにして、自身の将来の姿を目指して今は社会福祉士の資格取得のため勉強中。

◆釣りやドライブ、グルメで自然豊かな糸島ライフを満喫しています。静かな山の中にいて、川のせせらぎ、鳥のさえずりに心癒され充実できます。

人とのつながりや温かみを大切に、私も成長し、人に元気を与える側になりたい



前田

(特養 管理栄養士)

◆今年で4年目になります。いつもカラ元気？で気さくな先輩方に支えてもらいやってこれました。栄養士としても人

生経験も浅い私自身ですが、やはりコミュニケーションが働く上で一番大切だと感じます。

◆仕事のことは、積極的に意見や気がついたことなどを言うていただくと助かります。時として、真意が伝わらず、お互い傷つくこともあります。その後励まされ、元気をもらうのも人からです。

◆決して感情的にならず、落ち

着いて諭すように、かつ毅然と自分の考えを説明できる先輩を見習いたいです。

◆家のベランダでトマトとバジルを育てています。水を嫌うトマトと逆に親和的なバジルはとっても相性が良いのです。自家製のピザ生地に摘みたてのバジルをのせたマルゲリータは格別。今、トマトの成熟を心待ちにしています。

志摩園夏祭りのご案内

Info

舞台では、地元ボランティアの皆様による演芸や来場者参加のゲーム、ラストは恒例の抽選会があります



(昨年の一コマ)

★ 飲食部門は焼鳥、焼きそば、カレー、綿菓子他全部で9種類出店予定

★ ヨーヨー風船、スーパーボール、ゲームもあります

雨天中止

安全運転にご協力
をお願いします

と き 平成28年8月6日(土)
午後5時50分～8時40分予定

夏祭りのお問合せ：092-328-2121

ところ 特別養護老人ホーム志摩園
駐車場

※来場者駐車場は引津小学校をお借りしています



【編集後記】 今年3月26日の西日本新聞「春秋」欄に目をやると、無性に「漂白の思い」にかられ、旅(どっか)に行きたくなりました。

そこには、吉田拓郎の「竜飛崎」が書かれていました。リリースは私が中学2年のとき、シングルB面で、A面は「シンシア」。兄が聞いていたので私も自然に覚え、竜飛崎が気に入りました。〈竜飛崎よ どてっ腹をぶち抜かれちゃったね〉とは青函トンネル工事のことだったのかと今頃になって目からウロコでした。〈ドロ運びのおばさん〉は工事現場で働く人だったんでしょね。あまり有名な曲ではない(?)のにこんなところで紹介されたことに感激しました(6月21日付の同欄は英国のEUからの脱退か残留かの話題に、ビートルズのLET IT BEのエピソードが引用されていましたが執筆は同じ方なのではないでしょうか)。

この歌、作詞は岡本おさみ、岡本おさみと吉田拓郎コンビの旅がコンセプトされた曲に思春期ながら男の浪漫、渋さに憧れました。

ここで私の人生のシェマ(行動の下書き)がすでにハマってしまったのかもしれません。

いつのまにか、京都の大学に進学して、夏休みに自転車か原付バイクで奥の細道と全く同じルートを辿ることを想像したら、受験勉強のエネルギーになりました。

歌枕の地を訪ね歩きたいという気持ちは変わりません。歌といっても自分のアイデンティティが確立していく頃のフォークソングゆかりの地ですが。

最近そのうちのひとつを叶えました。京都の竹田です。京都駅から南へ地下鉄で7分。そう、「竹田の子守唄」ゆかりです。

赤い鳥のメンバーの「イライラしたときなど、京都の町をひとり歩くと気持ちが落ち着きます」というようなコンサートのときのMCを覚えています。東高瀬川の土手の上を歩いているとあれから50年近くたってもその時代の気分に戻り戻してくれるところでした。

今でも「子守唄」は歌われていますかと尋ねると、地元の人よりも地域の人たちによって歌い継がれていますとのお話でした。

「竜飛崎」に何となく心境が似ている都万(つま)にいつか行ってみたいと思っています。

(A・K)